

事務事業名	加茂総合センター庁舎管理事業	所属部	加茂総合センター	所属課	自治振興課	
総合計画体系	政策名	(VI)推進計画・地域経営によるまちづくりの推進	所属G	庶務グループ	課長名	大森 久
	施策名	(37)時代にあった行政サービスの推進	担当者名	舟木 洋介	電話番号	0854-49-8602
	目的	行政機能	意図	効率・公平なサービスを提供する。	(内線)	4101
	基本事業名	(108)業務と組織機構の見直し	予算科目	会計 款 大事業 大事業名	市有施設等管理事業	
目的	組織・機構、職員	意図	定員管理計画に基づく職員数で、効率よくサービスを提供する。	項目 中事業 中事業名	庁舎管理事業	

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
①庁舎及び設備等の管理委託(電気工作物、消防用設備、エレベーター保守等)や賃借(機器等)②夜間休日の庁舎警備委託契約及び支払③破損箇所等の修繕④光熱水費等の支払 ※事業費は委託料、警備委託料、賃借料、修繕工事、光熱水費等に支出される。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	24年度実績(24年度に行った主な活動)	25年度計画(25年度に計画する主な活動)			
		庁舎及び設備等の保守委託、警備委託及び賃借契約。庁舎修繕。委託料、光熱水費等の支払い。	24年度同様。			
② 活動指標		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
ア	修繕・保守・警備契約数及び賃借契約件数	件	12	10	11	10
イ	維持管理費	千円	16,881	12,832	14,537	12,884
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)	
	加茂総合センター庁舎施設 雲南市民	ア	施設数	棟	1	1	1	1
		イ	人口	人	41,917	41,159	40,548	40,440
		ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)		
施設及び設備を良好な状態で維持する。来庁者の利便性の向上を図るとともに快適な職場環境の整備を図る。	ア	市の行政サービスに納得している市民の割合	%	67.0	66.7	69.5	70.0	
	イ	庁舎に関する苦情件数	件	0	0	0	0	
	ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (24年度決算)	② コストの推移	単位	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(計画)	
消耗品費23千円、燃料費773千円、光熱水費3,094千円、修繕費959千円(電気設備357千円ほか10件)、委託料7,943千円(庁舎警備6,272千円、EV保守604千円ほか6件)、使用料140千円(下水道、CATV、電柱共架料)、賃借料76千円(リース料2件、NHK放送受信料)、工事費1,529千円(地下タンク修繕)	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円	101	94	83	90
		一般財源	千円	16,780	12,738	14,454	12,794
		事業費計(A)	千円	16,881	12,832	14,537	12,884
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2		
	延べ業務時間	時間	400	400	400		
	人件費計(B)	千円	1,555	1,577	1,567		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	18,436	14,409	16,104		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
基本的な考え方は5年前と変わらない。	施設及び設備を良好な状態で維持し、来庁者の利便性の向上を図るとともに快適な職場環境の整備を図っている。	特になし。

事務事業名	加茂総合センター庁舎管理事業	所属部	加茂総合センター	所属課	自治振興課
-------	----------------	-----	----------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	当該施設は建設後30年を経過しており、各所において修繕が必要となっている。また、省エネについて現在取り組んでおり、これ以上の維持管理費の削減は期待できない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	総合センターの維持管理を休止した場合、業務に支障をきたすとともに市民サービスの低下にも繋がる。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない			類似事業としては本庁及び他5総合センターの庁舎管理事業が考えられるが、統廃合や連携については本庁と各総合センターとのあり方等を十分に検討する必要があるため、当面は現状維持となる。
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		当該施設は建設後30年を経過しており、各所において修繕が必要となっている。また、省エネについて現在取り組んでおり、これ以上の維持管理費の削減は期待できない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
C 効率性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		委託契約を他の同様の施設と一括契約するなど行ってきており、これ以上の人件費の削減の余地はないと思われる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		受益者は主に一般市民であるため限定されていない。また、受益者負担を求めている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		庁舎のほか施設や整備の老朽化が進んでおり、修繕費等が増加傾向になると思われる。
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持	●	×																
	低下	×	×																
委託契約を他の同様の施設と一括契約するなど行ってきており、これ以上の人件費の削減の余地はないと思われる。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		